

気仙沼風待ち通信

速報

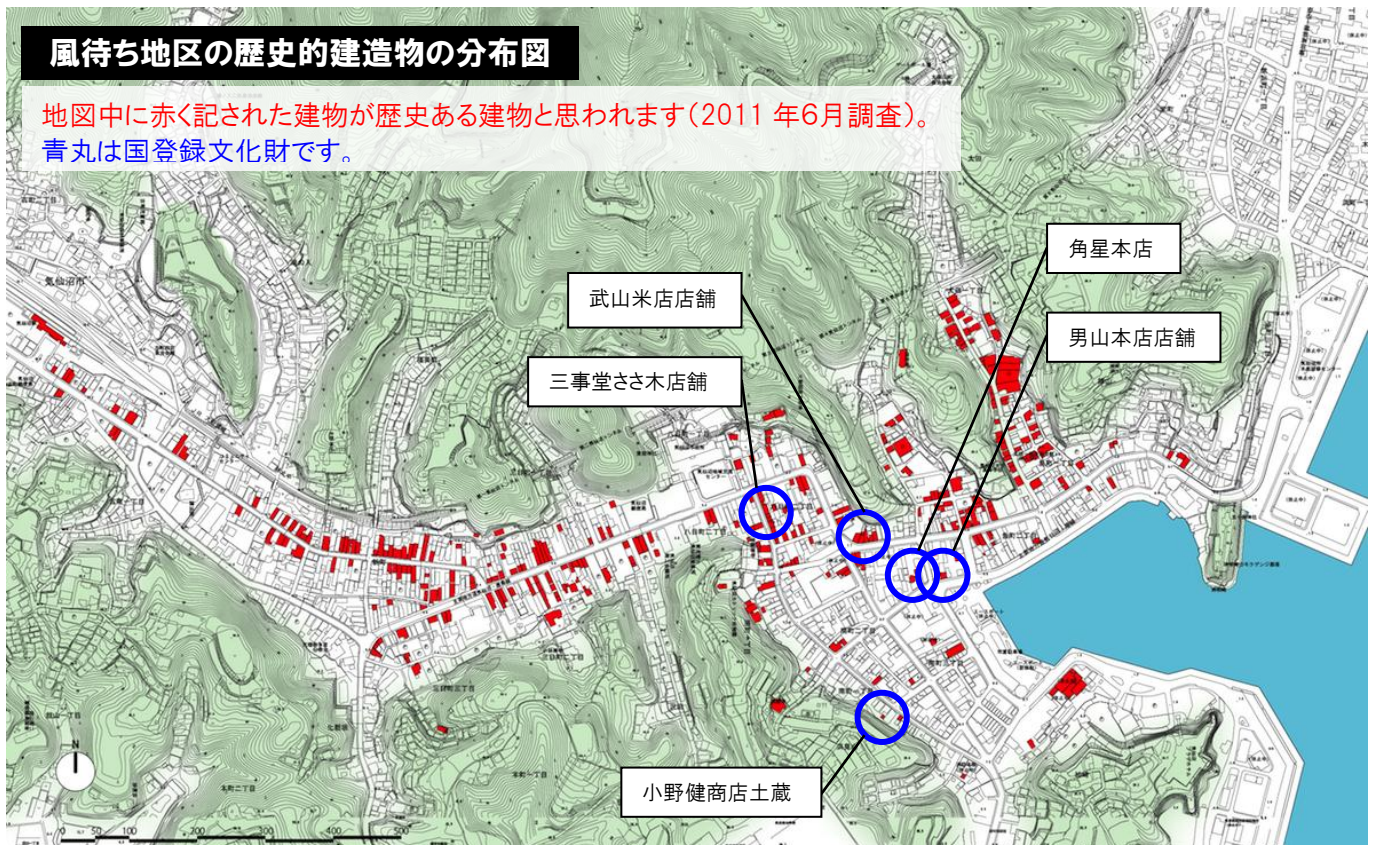
2013年2月

風待ち地区には歴史的建造物が数多く残っています！！

- 気仙沼市内湾地区(通称風待ち地区)には、東北有数の価値ある歴史的建造物が群として分布しています。東日本大震災の被災前から知られていましたが、被災後の調査でも約 350 棟近い歴史的建造物があることが確認されています(下の地図は 2011 年6月に調査した分布図です)。
- これらの歴史的建造物は、復興まちづくりに活用できるまちづくり資源です。全国の歴史的市街地で、こうした歴史的建造物を活かして地域の活性化等に役立てる取組みが行われています。風待ち地区の歴史的建造物も観光振興や個性ある地域づくりに大きく寄与できる資源です。
- 歴史的建造物の活用を考えるため「気仙沼風待ち復興検討会」が発足しました。被災前から活動していた「風待ち研究会」有志、市民や商業者、市職員の有志、全国の専門家等が結集しました。文化庁の「NPO 等による文化財建造物の管理活用等事業」の支援を受けて活動しています。
- 風待ち地区の歴史的建造物や、検討会の活動について、「気仙沼風待ち通信」で情報発信していきます。今後も定期的に活動や調査の成果をお伝えしていきたいと考えています。

風待ち地区の歴史的建造物の分布図

地図中に赤く記された建物が歴史ある建物と思われます(2011年6月調査)。
青丸は国登録文化財です。



風待ち復興検討会は日々活動を続けています！！

- 歴史的建造物を象徴する国登録文化財に関しては、国内外の民間募金の支援を受けて応急修理が進んでいます。

文化財保護・芸術研究助成財団(日本)と、ワールドモニュメント財団(アメリカ)が協力して立ち上げた SOC (SAVE OUR CULTURE)東日本大震災被災文化財復旧支援事業の支援を受けて、国登録文化財の応急修理が行われています。

- 今後、都市計画の内容と調整を図りながら、気仙沼の復興に寄与する歴史的建造物の活用方法を検討していきたいと考えています。

現在検討が進められている内湾地区のまちづくりの方向性とすりあわせながら、その復興に最大限寄与する活用方法を、専門家の協力を得ながら考えています。

- 活用の一例として、風待ち地区の歴史文化資源を巡り、気仙沼を「第二のふるさと」と思う人を増やす、モニターツアーの取組みが始められています。

改めて、気仙沼市風待ち地区の歴史文化や人の魅力が再確認されています。

風待ち地区の歴史文化を象徴する国登録文化財群については 東日本大震災で大きく破損しましたが 国内外の募金を受けて応急的な修復が行われています

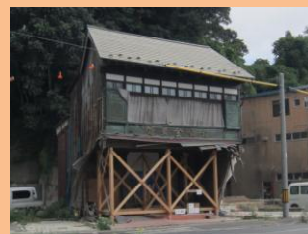
男山本店店舗

角星店舗

武山米店店舗

小野健商店土蔵

被災後



編集・発行: 気仙沼風待ち復興検討会

お問い合わせ: 気仙沼市八日町 1-1-10 気仙沼市教育委員会生涯学習課内
0226-22-6600(内線 465)

気仙沼風待ち
復興検討会